

# かんてつ 貫徹通信

発行責任者：おおや 徹

発行日 2013年11月【第16号】

発行者 大矢 徹

連絡先 0466(23)5711

<http://www.ohya-toru.com/>

[mail:ohya.toru@gmail.com](mailto:ohya.toru@gmail.com)

## 9月定例議会報告



決算討論の様子

9月2日から10月10日まで、9月定例議会が開催されました。今議会では、次のような事項について審議しました。

- ・大庭台墓園立体墓地納骨壇増設（E区）等建築工事の工事請負契約の締結
- ・藤沢市職員の退職手当に関する条例の一部改正について
- ・藤沢市税外収入金に関する延滞金条例の一部改正について
- ・藤沢市地域子供の家条例の一部改正について
- ・平成24年度決算の認定

私は、市側提出議案について、決算認定も含めて全て賛成をしました。

### 1. 小児医療費助成制度の方向性について

本市の小児医療費助成制度は、小学校卒業までの全体的なお子さんを対象としているほか、中学校卒業までの間は所得制限を設け、入院のみを助成しています。

現在、医療費助成対象となる14歳以下の年少人口は増加傾向にあり、平成21年4月に助成対象を小学校卒業までに拡大したことで、受給者数・経費ともに大きく増加しているほか、「子ども・子育て」に関する経費全体も、5年前より70%以上も増加しています。

今後、待機児童解消等にかかる事業等、経費の増加が見込まれることに加え、子ども・子育て支援新制度の施行に伴う新たな財政負担が懸念されています。

こうした中、「神奈川県緊急財政対策」において、小児医療費助成事業に係る補助金の見直しが検討項目に挙げられたことから、本市においても今後の医療費助成制度の方向性が検討がされました。

検討は、これまで課題とされてきた「中学校卒業までの対象拡大」を含め、市民サービス・子育て支援施策充実及び財政的観点等から行われ、総合的に勘案した結果、県の補助金が維持されることを前提に当面の間、現行制度を継続することになりました。

### 2. 待機児童解消に向けた新たな計画について

平成27年4月に「子ども・子育て関連3法」が全面施行されるまでの2年間の待機児童対策として、本市において「藤沢市緊急保育対策2ヵ年計画」が策定されました。

計画では、民設民営による保育所新設のほか、認可外保育所への支援を行うことで、2ヵ年で820人の定員拡大を図ることをめざしています。

### 3. 村岡子供の家について

土地所有者からの返還申し出により、12月1日で廃止することとなりました。

このことについて2件の陳情があり、「継続」を求めるものについては「主旨不了承」、「代替施設の早期設置」を求めるものについては「主旨了承」とされました。

### 4. 下水道汚泥焼却灰の処理について(続報)

前号の貫徹通信で、下水汚泥焼却灰の処理について報告しましたが、その後の状況についてお知らせします。

新聞報道等の影響により、再資源化を行う事業者から受け入れを拒否されたことから、辻堂及び大清水の両浄化センターに一時的に溜置かれている焼却灰は7月31日現在で2,836トンとなっています。

こうした状況を受け、今年度に稼働を予定していた下水汚泥焼却灰の希釈処理施設の建設を中止するとともに、来年度に、辻堂浄化センターの敷地内に焼却灰を1年分保管できる倉庫を建設することになりました。

また、現在の放射性物質濃度であれば「受け入れ可能」とする事業者が存在することから、廃棄物処理法等に沿いながら調整を進めていくこととなっています。

### 5. 環境職場における障がい者雇用の促進

藤沢市リサイクルセンターで行っている作業について、障がいのある方を雇用していきます。

作業内容は、回収した小型電子機器の分別や、再使用可能な商品プラスチックの洗浄・消毒作業、ペットボトルのラベルやキャップの除去作業などです。

市として障がい者の雇用を推進していくことは大変重要であり、地域の牽引役として市内事業者の手本となっていくことを期待します。また、今後障がい者雇用をどう促進していくかを、しっかりと方針化し計画性を持って進めていくことが課題だと思えます。

### 6. 事務事業評価を試行

今議会においては、6つの事業について今後の方向性を議会として次のとおり出しました。

◎地産地消推進事業費（全会一致で拡充すべき）

◎庁舎整備費（全会一致で継続）

◎生活環境美化推進費（全会一致で改善し継続）

◎就労支援事業（全会一致で改善し継続）

◎健康と文化の森整備事業費（大勢一致で改善し継続）

◎小児医療助成費（統一した評価に至らず要検討）

## 決算討論について

「決算討論」とは、決算審査をした平成24年度決算について、採決に先立って各会派が「賛成」・「反対」のそれぞれ立場で、意見・要望・指摘等を行うものです。私の所属する会派「かわせみクラブ」からは、私が「賛成」の立場で様々な分野について発言を行いました。

### 組織改正と新庁舎建設について

市民に分かりやすい組織、課題解決に向けた組織強化など、市民の立場に立った検討がされ、この4月に組織改正がされた。しかし、本館・東館が閉鎖されているため、市役所機能が分散化し、市民にとって不便な状況となっている。組織改正の目的を達成するためにも、早期の新庁舎建設が必要である。

平成29年度中の完成というスケジュールの前倒しは難しいとのことだが、少なくとも遅れないよう、十分な調整と市民の意見を聞く機会の担保をお願いする。

### 法とモラルを守る藤沢について

「藤沢市における法令の遵守に関する条例」の制定後も7件の懲戒処分が発生しており、根絶に向けたとりくみを強化していくべきだが、不祥事の根絶には「民間の感覚」のみで整理するのではなく、「全体の奉仕者としての公務員の立場で考える」という視点も必要と考える。

### 平和都市宣言に関連して

現在、本市では「核兵器廃絶平和都市宣言」の主旨に基づき、広島・長崎への派遣を含めた平和事業を展開しているが、横須賀を母港としている原子力空母についても、本市と横須賀基地は直線で約20kmであり、この状況を福島原発に置き換えると「居住制限区域」もしくは「帰宅困難区域」にあたることから、有事の際の対策を構築していくべきである。

### 学校施設整備について

学校給食調理室の空調整備については、質疑の中で、夏場の調理室の過酷な現状や熱中症の現状も含めて、教育委員会として十分認識されていることが確認できた。

今後、普通教室のエアコン設置に合わせて、調理室にも設置することだが、学校によってはその構造上簡単に設置できないことも想定できる。エアコン設置に向けて、事前に対策が必要な学校があるかどうか調査し、必要であればその対策を講じて、決して後回しにならないようにとりくんでいただきたい。

### 市職員の給与削減について

昨年10月より市職員給与について独自削減をしている。市長の公約である総人件費5%削減について、任期中の考え方が示されているが、これまで実行された「第1次行革から第3次行革」による人員削減は760人、コスト削減は500億円であった。その一方で、時間外勤務は増大し、年休はなかなか取得できない状況で、管理職については、時間外手当の対象とならないうえに、休日出勤も大変多く見受けられる。

現在、毎月約34,000時間、年間約416,000時間の時間外勤務が生じており、年間の所定内労働時間1,891時間で単純に割ると約220人分職員が足りないことから、職員数が不足していると言わざるを得ない。

共済等の事業主負担や退職手当を含めた生涯賃金を考えれば、25%・50%増しの時間外手当を払ってでも人件費の抑制になる事は理解出来るが、職員の負担を軽減する方策の検討や、モチベーションを維持し、より良い市民サービスを提供していくための一定の給与水準の確保に努めていただきたい。

### 教育全般について

昨年度は大津市のいじめや大阪での体罰による子どもの自殺という深刻な問題が露呈し、教育のあり方が根本から問われた年であった。

藤沢市においても中学校で2件の体罰による処分が明らかとなった。

教育委員会や各学校は、これらを「特定の個人の問題」とするのではなく、この機会に改めていじめや体罰のない学校づくりに向けてとりくんでいくべきと考えるが、今回教育委員会が、今後に向けて「すべての子どもが支援を必要としている」という立場に立った「支援教育」の理念を本市の教育の根幹に据えようとしていることについては高く評価する。

改めて「学校教育ふじさわビジョン」の理念に立ち返り、すべての子ども達を包み込む「インクルーシブな学校」をめざしていただきたい。

## おおや徹 ホームページのご案内

おおや徹ホームページは、開設以来、多くの方にご覧いただき、おかげさまで15万回を超えるアクセスをいただいております。

議会状況を迅速に報告しているほか、コラムでは趣味の食べ歩きを活かして、近隣の美味しいお店などを紹介しています。最近では、こちらの報告も楽しみにしているとの声も多くいただいております。

藤沢市をもっと良く知って好きになってもらえたらと思いながら更新していますので、是非ご覧ください！

アドレス：<http://www.ohya-toru.com/>

おおや徹

検索

クリック

